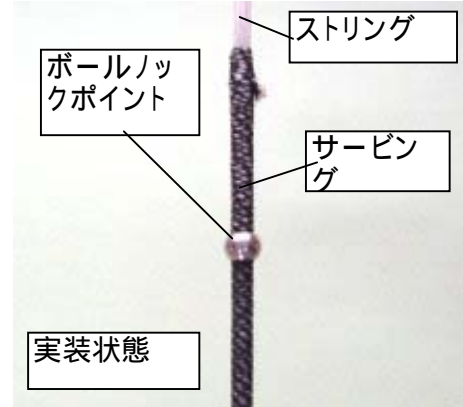
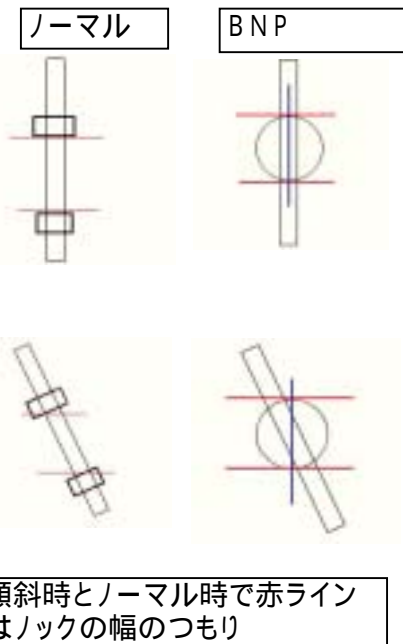


17. ボールlockingポイントの考察

ボールlockingポイントというものをご存知ですか、私がこのポイント見て思ったのはフィールドのとき、特にBB(ペアボウ)において優位かなと思い購入しました。このポイントを使ったときのよい点と問題点をまとめて見ましょう。

まず、通常のlockingポイントと異なる点はこのボールlockingポイント(BNP)は専用のノックを必要とするが、ストリングが傾斜した場合にもサービングに干渉せず、矢を上下させるテンションがかかりにくいことになる。それはノックとストリングがつながっている部分が球形に由来するからである。

通常のとりかけではノックをはさむ形で行うために、問題は無いがペアボウの場合は距離の変化に対応するため、ストリングウォーキングを行うため、距離が短くなればなるほど、図のように矢の発射方向に比べ、ストリングが傾いていることになる。この状態から実装状態に戻るために



矢を上下させる力が働くと同時に、ノックの幅が通常の場合は傾いた場合と水平時とは異なり、lockingポイントの場合によっては干渉して、より矢に異なる方向の力が働くことになる。

BNPの結果

1. よい点はやはり傾斜した場合の返りに対する影響は少ないと思う。
2. 専用ノックを要求されるので初期費用が高い
3. ストリングを作る場合面倒である
4. ボールがサービングの下、ストリングに直接入っているため、ストリングにストレスをかけやすい

まとめ

実際全日本大会などで使用してみたが、素直にリリースすればばらつきは少ないように思います。ただし、ストリングに直接入っている分、耐久性が問題で、大会時にも予備弦に取り替えて対応した。直接ストリングをいためるので補修が利かない。結果としては精度よりも安定性が重要なので、現在はお蔵入り状態である。考え方は面白いのだけれども...

で、現在はスライドNPとしてBBはちょっとした工夫でテンションがかかりにくくして通常のNPを工夫しています。また機会があれば紹介しましょう。